

OS交配

●ハウス● 7~3月定植(摘芯・つる下ろし)

キュウリ



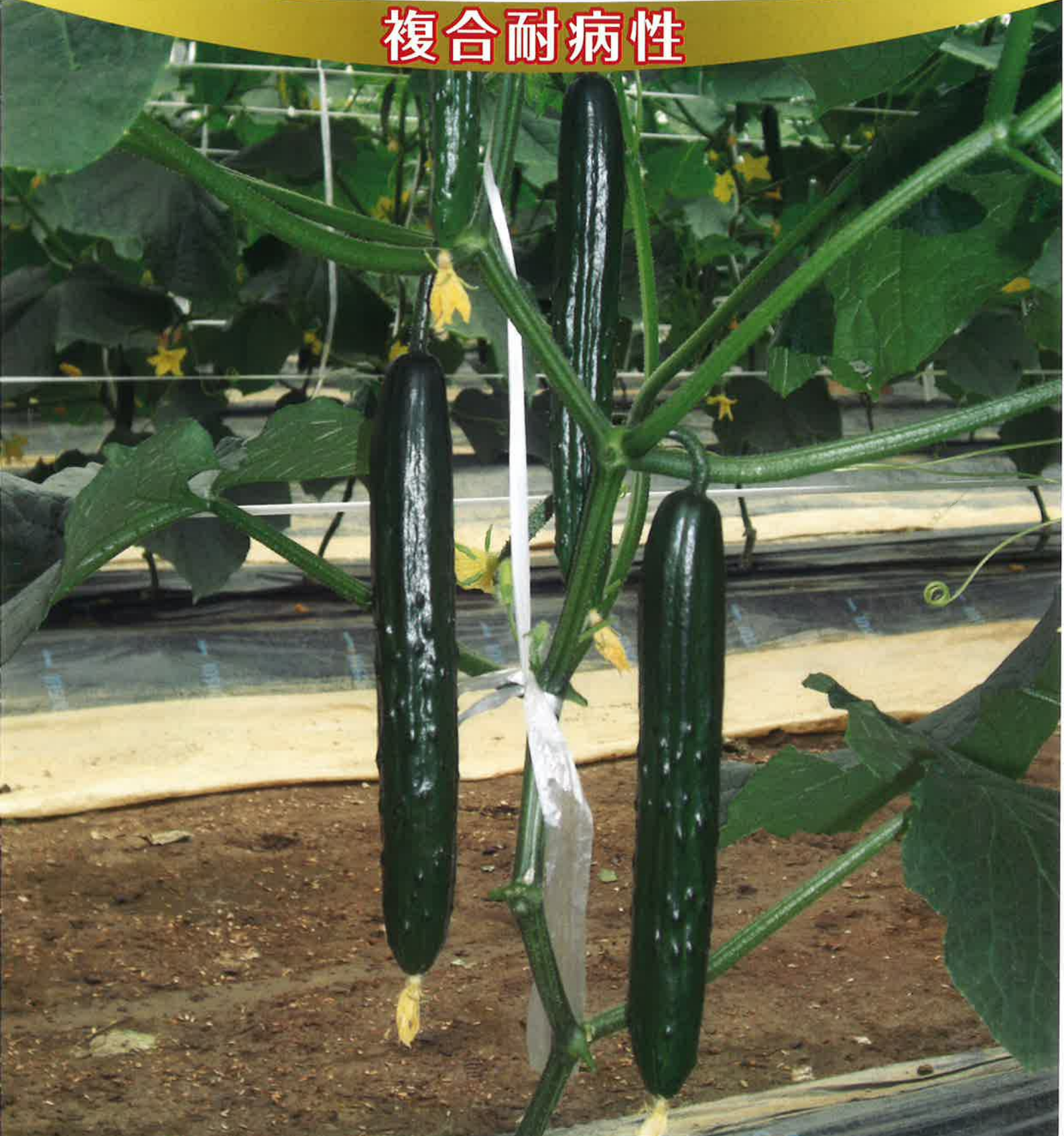
勇翔

YUU-SHOU
ゆうしょう

S-21A

●ウドンコ病・褐斑病・ベト病に極めて強い ●流れ果少なく、果ヤケしにくい

複合耐病性



株式会社

埼玉原種育成会



OS
交配

勇翔

YUU-SHOU
ゆうしょう

S-21A

特性と栽培のポイント

特性

ウドンコ病・褐斑病の双方に強く、べト病にも強い。果実肥大が早く、初期から安定して多収となる。流れ果が少なく、ヤケ果の発生もほとんどない。

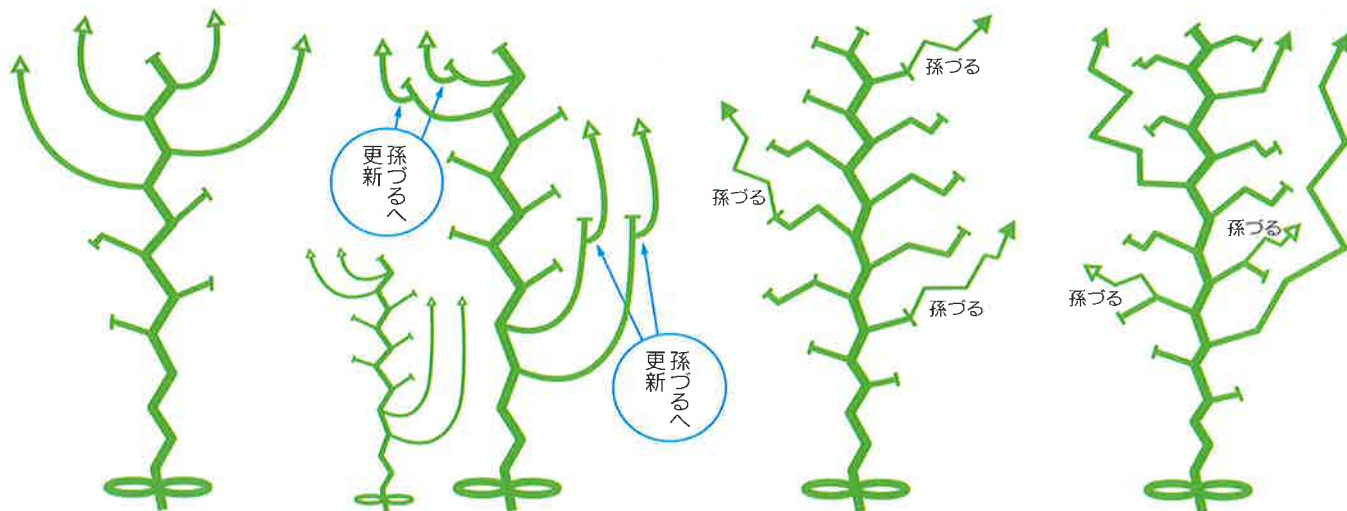
適作型	ハウス:7~3月定植(摘芯・つる下ろし)
雌花率	7~9月定植 40~50% 10~3月定植 70~80%
草姿・草勢	側枝の発生は確実で、孫枝以降は中~短節間の枝がゆつくり発生し、果の肥大がスムーズでスッキリした草姿となる。
果実	鮮緑で光沢極良。100g果で21cm前後。首から尻までよく整い、果形・果長の安定性が高い。ヤケ果の発生は殆どない。歯切れ良く食感良好。
収量	流れ果少なく果実肥大早く、初期から安定して多収となる。
耐病性	ウドンコ病・褐斑病の双方に強く、べト病にも強い。

栽培のポイント

- 定植から活着、伸び盛り、収穫始まるまでは基本的な肥培管理で、徒長させずに旺盛な生育を図る。
- つる下し栽培の場合、作型や栽培環境を考え、仕立て方を選択する。
- 摘芯栽培の場合、主枝果実~側枝果実の連続肥大時期までの草勢に合わせて、摘芯の強弱を考慮する。
- つる下し枝からの果実連続肥大時期になったら、草勢維持のための管理に移行する。
- ブルームレス台木は、OS交配ゆうゆう一輝(黒タイプ)、オールスター一輝、FGY、RK-3が適する。
- ブルーム台木は、ウルトラ南瓜、ウルトラG南瓜、ウルトラ9B南瓜が適する。

仕立て方の例

連続肥大性が優れ、側枝ストレートでのつる下し栽培が基本だが、作型や栽培環境によっては強草勢となり、つる下し枝のコントロールが利きにくい場合もある。草勢が明らかに強く果実を引きずるような場合は孫づるへの更新を検討する。



①主枝を12~14節で摘芯し、上段より子づる4本を力枝とし、ストレートのつる下し。

②主枝を12~14節で摘芯し、下段と上段から子づる2本ずつ力枝とし、ストレートのつる下し。ただし、下段の子づるが強すぎる場合は6~8節で摘芯し孫づるへの更新も検討する。

③摘芯栽培の仕立て方-その1
草勢強く生育し、順調な子づるが発生する場合は、孫づる以降を半放任する。

④摘芯栽培の仕立て方-その2
草勢がおとなしい場合、中~上段に摘芯せずに誘引枝を1~2本確保し、その他の子づるは摘芯し、孫づる以降は半放任。



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元
株式会社 埼玉原種育成会
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元
株式会社シード

〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407